

令和5年度東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会
病害虫研究会（夏期）開催要領

東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会長
農研機構東北農業研究センター
緩傾斜畑作研究領域長 関矢博幸

1. 趣 旨

東北地域では、花卉や野菜などの園芸品目における総合的病害虫管理（IPM）の導入、水田作の大規模化に対応する減農薬栽培の実践が進められている。品質や収量を確保するためには病害虫の確実な防除が重要であり、花卉や野菜の栽培特性や大規模ゆえの問題に対応するなど、地域で様々な取り組みが行われている。そこで、このような取り組みや対策について現地視察を含めた情報交換を行うとともに、東北地域における今後の展開方向について検討を行い、関連試験研究の推進及び連携協力を図る。

2. 開催日時 令和5年9月11日（月）13:00 ～ 12日（火）12:00

3. 開催場所

1日目：カーネーション栽培圃場、水稻栽培圃場、農業・園芸総合研究所（名取市）

2日目：東北大学青葉山キャンパス（青葉山コモンズ 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻青葉 468-1）

4. 検討内容

1) 現地検討会 9月11日（月）13:00～16:30

- ①カーネーション栽培圃場（〒981-1211 名取市高柳字北原上 57：花卉栽培のIPM）
- ②水稻栽培圃場（〒981-1201 名取市下増田耕谷後 265-2：大規模輪作体系と減農薬）
- ③農業・園芸総合研究所（〒981-1243 名取市高館川上字東金剛寺 1：試験研究圃場）

2) 研究会 9月12日（火）9:00～12:00

検討課題：IPM・減農薬に関連した病害虫防除の研究と取り組み

1. AIで土壌病害の発生しやすさ診断から対策までを支援（土壌病害診断AIアプリ「HeSo+」の開発と宮城県の試験事例紹介）
宮城県病害虫防除所 技術次長（班長） 大場 淳司
 2. 土地利用など環境情報を用いた斑点米カメムシ類の被害予測技術
農研機構東北農業研究センター 上級研究員 田淵 研
 3. 宮城県における水稻病害のIPMに関する研究事例紹介
宮城県古川農業試験場 主任研究員 狐塚 慶子
 4. LEDおよびLDを用いた光による殺虫技術
東北大学大学院農学研究科 教授 堀 雅敏
- 総合討論

5. 参集範囲

東北各県の公設試験研究機関・行政機関・普及指導機関、東北農政局、大学、農研機構等国立研究開発法人、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 下田 武志、今崎 伊織
〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4 TEL&FAX：019-643-3466（直通）
E-Mail：oligota@affrc.go.jp（下田）、iiori@affrc.go.jp（今崎）